

医学部医学科

ホームカミングディ



Homecoming Day



2024.11.2sat

申込不要

会場：医学部記念会館2階ホール

- 13:00 開場
- 13:30~14:00 医学部医学科卒業生による講演 ▶▶
- 14:00~14:30 薬理病態学分野教授による講演 ▶▶

医学部医学科卒業生による講演 ▶▶

『家族まると地域まると
～家庭医×コミュニティドクター
診療所での挑戦！～』

川口診療所 総合診療区・家庭医療専攻区

たきい みく
瀧井 未来 先生



薬理病態学分野教授による講演 ▶▶

『量子技術を用いた生体機能・
代謝イメージング法の開発と病態応用』

岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻
生命原理学講座薬理病態学分野 教授

ひょうどう ふみのり

兵藤 文紀 先生 (オンライン予定)



●問合せ先

岐阜大学医学系研究科・医学部 総務係

Tel : 058-230-6053 Mail : igakubu@t.gifu-u.ac.jp



●13:30～14:00

医学部医学科卒業生による講演 ▶▶

『家族まるごと地域まるごと ～家庭医×コミュニティドクター 診療所での挑戦！～』



講師プロフィール たきい みく
瀧井 未来 先生

2019年3月に岐阜大学医学部医学科を卒業。同年4月から埼玉協同病院で初期臨床研修を開始。
2021年4月からはさいたま総合診療医・家庭センターにて総合診療医専門研修プログラムに参加し、総合診療・家庭医療専門医の研修を開始。

講演概要

学生時代に人の暮らしに寄り添う医療に憧れ、総合診療・家庭医療専門医を志した。人とつながりまちを元気にする「コミュニティ・ナース」に共感し、コミュニティ・ドクターとして活動を始めた。所属する診療所の建替えに際し、診療内容を「臓器別専門医療」から「家庭医療・健康増進・まちづくり」へ変更し、地域に溶け込む医療従事者・診療所として、ソーシャルキャピタルの醸成へ模索している様子を紹介する。

●14:00～14:30

薬理病態学分野教授による講演 ▶▶

『量子技術を用いた生体機能・代謝イメージング法の開発と病態応用』



講師プロフィール ひょうどう ふみのり
兵藤 文紀 先生

2004年4月から2004年11月まで九州大学大学院薬学研究院で21世紀COE学術研究員として活動後、2004年12月から2007年12月までアメリカ国立衛生研究所（NIH）の放射線生物学部門でポスドクフェローとして研究を行う。2008年1月から2009年3月まで九州大学の先端融合医療レドックスナビ研究拠点で特任助教を務め、2009年4月から2017年3月まで同研究拠点で准教授・グループ長として活躍。2017年4月から2022年3月まで岐阜大学医学系研究科放射線医学分野の先端画像開発講座で特任准教授を務める。2022年4月から2023年11月まで岐阜大学大学院医学系研究科および高等研究院で准教授として勤務し、2023年12月からは岐阜大学大学院医学系研究科・医学部の薬理病態学分野の教授に就任。

講演概要

最近、「量子」という言葉を耳にすることが増えているのではないのでしょうか。量子コンピューターがその代表例ですが、医療分野でも量子技術の導入が進んでいます。私たちは量子技術を用いて、MRIの感度を飛躍的に向上させる研究を行っています。この「量子MRI」により、体内の機能や代謝を精密に描写し、病気の早期診断や薬効の迅速な評価が可能になることが期待されます。本日は、この量子MRIについてご紹介いたします。

●会場案内図

入り口はこちら側です

